

**森 六**

# 成長市場とりこみ世界開拓

森六はグローバル展開を加速し、さらなる事業成長につなげる。商社機能を担うケミカル事業本部では「グローバル事業の拡大」と「ものづくり事業拡大による付加価値創造」に注力。インドやベトナムでのビジネスが順調に推移し、農薬素材など新たな商材の開発も進んでいる。今期は中国市場の減速もあつて苦戦を強いられているが、成長市場への進出を足がかりに反転攻勢をかける。

品関連製品の日本への輸出などを行うインドのビジネスが黒字化。来年にはインドの西側に、中東やアフリカでの展開を見据えた新拠点設置を検討している。アフリカでは現地企業との合弁も視野に入れる。ベトナムの樹脂関連事業や、今年8月に開設したドイツ拠点の化学製品事業も順調に立ち上がった。

ものづくり事業は、グループ企業の子会社化成工業が2027年3月期の収益貢献が見えてきた。四国化工は、医療関連フィルムで海外展開を拡大している。インドネシアではすでに実績があり、今後はインドやアフリカへの輸出、あるいは現地企業と技術提携を検討する。

今年4月には韓国企業との合弁会社ナモケミカルを設立した。合弁会社では、リチウムイオン電池(LiB)の発火防止の補助材料を生産する。10月にパイロットプラントが完成。年内の韓国自動車大手の工場監査を経て、電気自動車(EV)製造工場に隣接して量産プラントを着工する計画だ。

将来的には日系や中国系の電池メーカーにも売り込む。

森六アグリが販売する、

天然由来で農作物の免疫機能を刺激し、ストレスへの耐性向上や生育促進、品質向上を図るバイオステイミュラント(BS)資材も好調だ。高付加価値素材を開発する「ケミカルラボ」で完成した、非可食廃材を活用したBS製品の圃場試験を実施。キャベツ等の農作物の生育促進や収量が向上したとの評価を得た。今後はインドネシア、ベトナムやインドでの展開に注力していく。